

A-82

第1問(25点)

and の後ろは will have です。ですから1つはこれです。もう1つは、will have と主語が同じものを探し、その述語になります。1つが動詞なのでもう1つも動詞です。will have の主語は「community、…に大きな影響を持つもの」ですから、environmentalists ではなく、paper consumption と考えられます。よってもう1つの動詞は、is となります。

paper consumption is already unsustainable and (paper consumption) will have a profound impact on ….ということです。

第2問(25点)

関係代名詞の部分の to which は the key を修飾しています。この文を無理やり2文で書けば、While working on … ,Feynman had his wife send him letters in a code. He didn't know the key to the code.となります。「暗号の鍵をしらない」ということですから、to which は(the) key を修飾していることとなります。

第3問(25点)

They:S, were:V, the books:C, that:S, comforted:V, us:O, that:S, put:V, us:O, to sleep:C(または M), that:O, we:S, share:V, on the lap:M, of a loved one:M

第4問(25点)

主節が They were the books この部分で文型は終わっています。They(S) were(V) the books(C) (それらは、本である)です。the book を3つの that(関係代名詞)節が修飾しています。that 節の中身を見てみると comforted us→Sなし、put us to sleep→Sなし、we share on the lap of a loved one→Oなし、ですから、3つの that は全て関係代名詞になって、それぞれ節中で S,S,O として機能します。3つの that はどんな本かを説明していて、1つ目の that 節は、「私たちがなぐさめる(ような)本」

ということで、The book comforted us という表現が元になっています。2つ目の that 節は、「私たちが眠りにさそう(ような)本」ということで、The book put us to sleep という表現が元になっています。最後の that 節は、「恋人の膝の上で共有する(ような)本」ということで、We share the books on the lap of loved one という表現が元になっています。